

産業または企業の生産能力と需要水準
:(負の)利潤原理の連鎖反応の説明モデル

生産能力または需要水準 →

横軸は産業連関をもつ産業と、各産業の生産能力の単位。

注:産業連関(原材料の供給)がD→C→B→A(最終製品)とする。

単位	産業または企業	台	個	トン	バーレル	...
生産能力		60.0	63.0	66.0	64.0	
損益分岐点稼働率		0.6	0.65	0.7	0.67	
損益分岐点生産量		36.0	41.0	46.2	42.9	
生産能力-損益分岐点生産量		24.0	22.1	19.8	21.1	
x3:A、B、D産業が能力不足	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0	66.0
x2:A産業が能力不足	63.0	63.0	63.0	63.0	63.0	63.0
x1:A産業だけフル稼働	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
x0:全産業が損益分岐点以上	46.2	46.2	46.2	46.2	46.2	46.2
x-1:C、D産業が損益分岐点以下	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9	42.9
x-2:全産業で損益分岐点以下	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0

